

ホームページ開設から 10 周年

先月 17 日にホームページ開設から 10 年となりました。開設の発端の一つは都立砂川高校で作った国際理解の教材を自分のページに載せてもよいとの話をいただいたこと、もう一つはかつての職場の聖教新聞に定年後もときおりボランティアで原稿を書いていたのが諸種の事情でなくなったことからです。それに、せっかく培ってきた文章を書く経験を生かし、また入会が認められた日本ペンクラブの会員として発信の場を持ちたい、との気持ちもあったのです。

おりしも開設のこの年（2005 年）から名作の舞台を訪ねる世界文学紀行を始めたので、載せる記事や写真はある程度の目安がついていました。それにページの目玉「気まま随想」は、個人のページなるがゆえにテーマも文体もまさに“気まま”に綴ることが許される楽しみがありました。

「気まま」の意味は、“書きたいときに書く”という趣意もあったのですが、友人の「楽しみにしているか『風と共に去りぬ』取材でアトランタ訪問から毎月何か書いてよ」との言葉に押されて、10 年間、内容の深淺はともかく毎月欠かさずアップしてこられたことは“我ながらよく頑張った”と振り返る次第です（自画自賛で申し訳ありません）。

発表の場ができると、いろんな記事も載せられるようになりました。文芸社から出版の「定年留学してみませんか?」、現役時代に新聞には載せられなかった原稿も「特派員時代の記録から」として、さらに「講演会のスピーチ」、各紙誌への投稿記事を含めた「エッセイ・コラム」欄、「私の語学習得法」等々。また創価学会入会50周年を機に「ミニ自分史」を掲載することにしました。わが人生の柱ともなっている信仰体験がどなたかへの励みや力になればとの思いからです。「俳句・川柳」欄は最初のまま更新されていません。もう少し先にはクラスに出て勉強して新しい句も、と思っているところです。

今はネットの時代——「ネットを征したところが時代を征する」とも言えるでしょう。個人でも、文章や写真をメール添付で送ることはできても、文と写真を組み合わせた一つのページとして見ていただくのには、やはりホームページが最適なのです。



英語、スペイン語のページもネイティブチェックがネットの“威力”に支えられています。「寝ている間に仕事は進む！」——2007年4月「気まま随想」にユニークな原理を紹介していますので、もしまだお読みでないようでしたらご覧いただければ幸いです。

10周年の時点でアクセス数は31000になっていました。今この稿を読んでいただいている皆さまも数に累計されてまいります。だれでもホームページの保持者は数が増えると嬉しいものです。皆さまのアクセスに心から感謝申し上げ、これからも変わらぬご愛読、ご支援をお願い申し上げます。次第です。

「ドン・キホーテ」のレポートは作者セルバンテスが生まれた町の新聞にも紹介されました。

